

いし の ま ま き

No.
52

議会だより

平成29年8月10日発行

第2回定例会	2
各常任委員会審査報告	4
20人が一般質問で市政を問う	7
議会運営委員会行政視察レポート	16
平成28年度政務活動費執行状況	17

石巻市立桜坂高等学校 議場見学の様子



条例や補正予算など44件を可決

平成29年第2回定例会は、6月12日から27日までの16日間の日程で開催されました。今定例会では、条例や補正予算など市長提出議案44件が提出されました。審議の結果、提出議案はすべて原案のとおり可決、同意されました。

第2回定例会に提出された

議案と審議結果

予 算 (原案可決)

- 平成29年度
- 石巻市一般会計補正予算(第2号)
- 石巻市土地取得特別会計補正予算(第1号)
- 石巻市下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 石巻市市街地開発事業特別会計補正予算(第1号)
- 石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 石巻市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

条 例 (原案可決)

- 石巻市かわまち交流拠点条例
- 石巻市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市公民館条例の一部を改正する条例
- 石巻市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

そ の 他 (原案可決)

- 石巻市学習等供用施設条例の一部を改正する条例
- 石巻市防災会議条例の一部を改正する条例
- 石巻市牡鹿生活共同利用施設設置条例の一部を改正する条例
- 石巻市宮住宅条例の一部を改正する条例
- 工事委託に関する年度協定の締結について
- (市道門脇町三・四丁目1号線道路改良事業(仮称)鎮守大橋橋梁整備工事に関する平成29年度協定)
- (平成29年度における石巻市公共下水道(雨水排水ポンプ場等)施設の災害復旧及び復興事業に係る建設工事委託に関する基本協定の建設工事委託に関する年度実施協定)
- 業務委託契約の一部変更について
- (石巻市復興整備事業半島部防災集団移転促進事業等の工事施工等に関する一体的業務)
- (石巻市新門脇地区被災市街地復興土地区画整理事業)財産の取得について
- (石巻広域都市計画道路事業3.5.41号渡波稲井線事業地)
- (仮称)石巻市宮新西前沼第三復興住宅)
- (仮称)石巻市宮伊勢畑復興住宅)
- (石巻市宮小淵浜復興住宅)
- (仮称)石巻市宮鮎川黒崎復興住宅)
- (消防ポンプ自動車及び小型動力ポンプ付積載車(市町村振興)石巻地区分 その1)
- (消防ポンプ自動車(災害復旧)石巻地区分 その2)
- (小型動力ポンプ付積載車(市町村振興)河南地区及び桃生地区分 その3)
- 財産の処分について
- 工事請負の契約締結について

人 事

- (渡波稲井線道路新設工事)
- 工事請負契約の一部を変更する契約の締結について
- (湊北地区土地区画整理事業上水道管布設工事)
- (下釜南部地区土地区画整理事業地内汚水管渠築造(その3)工事)工事請負契約の一部変更について
- (湊東地区土地区画整理事業宅地造成道路築造工事)
- (湊東地区土地区画整理事業上水道管布設工事)
- (湊北地区土地区画整理事業宅地造成道路築造工事)
- 損害賠償請求事件に係る和解について
- 損害賠償請求事件に係る訴訟の和解について
- 公有水面埋立に関する意見について
- 市道路線の認定について
- 市道路線の廃止について
- 市道路線の変更にについて

↓ 副市長を選任するにつき同意を求めることについて
佐藤茂宗氏を選任することに同意

↓ 公平委員会委員を選任するにつき同意を求めることについて
佐々木功氏を選任することに同意

↓ 固定資産評価審査委員会委員を選任するにつき同意を求めることについて
手島克彦氏・石川壽一氏・石堂紳一氏・加賀賢二氏・佐々木雄一郎氏・千葉義一氏を選任することに同意

↓ 人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて
馬場務氏・浮津康逸氏・渥美佳子氏・千葉秀子氏・米谷智恵子氏・阿部幸恵氏を推薦することに異議がない。

第2回定例会で議決した議案の中から

可決された条例の中から

◆石巻市かわまち交流拠点条例

- 石巻中央地区の旧北上川の川沿いエリアにおいて、川とまちをつなぐ新たな空間と交流施設を整備し、市民や観光客が集える憩いの場を提供するとともに、交流人口の増加や賑わいの創出による中心市街地の活性化を図ることを目的に、本条例を制定するもの。

◆石巻市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

- 子育て世代の経済的負担の軽減と、より子育てしやすい環境の整備を図るため、本条例の一部を改正するもの。

◆石巻市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

- 「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準及び子ども・子育て支援法施行規則の一部を改正する内閣府令」が平成29年3月31日公布、同年4月1日から施行され、これまで、保育所、こども園等を利用する支給認定保護者は、当該施設に対し、決定された保育利用時間等の内容が記載された「支給認定証」を提示することとされておりましたが、運用上、自治体から、保育所、こども園等施設に対し、各子どもの保育利用時間等が示されていることから、当該支給認定証の提示義務について見直されたことに伴い、本条例の一部を改正するもの。

可決された補正予算の主な中身は

今回の補正予算は、第18回目の「東日本大震災復興交付金」の交付に伴う基金への積立金のほか、証明書等コンビニ交付サービスの導入、子ども医療費助成制度の対象者拡充、ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピックへの機運を高めるイベントに要する経費などを措置したもの。

また、民間保育所の新設に係る補助金のほか、雄勝中心部地区及び鮎川浜地区拠点エリアに要する経費などについて、所要額を措置したもの。

◆総務費では

- ・ 損害賠償請求事件に係る訴訟の和解に要する経費
- ・ 荻浜支所等複合施設整備に伴う太陽光発電設備の設置に要する経費
- ・ 被災者支援総合交付金（心の復興事業）による、被災者の生きがいがづくりに資する活動を行う団体に対する補助金

◆民生費では

- ・ 子ども医療費助成制度に係る所得制限の廃止に要する経費
- ・ 民間保育所の新設に対する補助金

◆農林水産業費では

- ・ 林道を活用した避難路の整備に要する経費
- ・ 寄磯漁港の漁港施設機能強化事業に対する負担金
- ・ 牡鹿地区後川さけ人工ふ化場の再建に要する経費

◆商工費では

- ・ 商店街再生加速化支援事業費補助金
- ・ 本年10月に竣工する「かわまち交流拠点駐車場」の管理に要する経費
- ・ 企業誘致に係る基本構想の策定に要する経費

◆土木費では

- ・ 南浜東部地区における道路整備及び南浜地区雨水排水施設整備に要する経費
- ・ 雄勝中心部地区、鮎川浜地区拠点エリアの整備に要する経費

◆消防費では

- ・ 自主防災組織に対するコミュニティ助成事業助成金
- ・ 市が指定した津波避難ビルの調査に要する経費

◆教育費では

- ・ 旧飯野川第二小学校の屋内運動場及びプールの解体工事に要する経費
- ・ 旧石巻西学校給食センターの解体工事に要する経費

◆災害復旧費では

- ・ 船戸水門（雄勝地区）の災害復旧に要する経費
- ・ 消防ポンプ置場用備品の災害復旧に要する経費

◆公債費では

- ・ 災害援護資金の繰上償還に要する経費（平成28年10月から平成29年3月までに繰上償還されたもの）

6月13日の本会議で、条例、補正予算などの議案が審議され、総務企画、環境教育、保健福祉、産業建設の各常任委員会に付託されました。

各常任委員会で審査されたことの中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

総務企画委員会

石巻市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

Q 職員の育児休業の取得状況及び男女別の割合と職員に対する育児休業制度の周知方法について伺う。

A 平成27年度は15人、平成28年度は42人、平成29年度は6月1日時点で18人が取得しており、そのうち、男性職員の実績は平成28年度の1人である。また、職員に対する周知方法については、人事課ホームページの中で育児休業制度の解説を行っており、改めて、改正内容とあわせた周知について全庁的に行う。

平成29年度 石巻市一般会計補正予算(2号)について

Q 津波避難ビルを指定する際の耐浪性の基準について伺う。

A 基本的要件の中の構造的要件として、鉄筋コンクリートまたは鉄骨鉄筋コンクリートを基本とし、それ以外の構造は耐浪性がある国の津波避難ビルとして準じた構造である。

Q 耐浪調査業務の具体的な調査方法について伺う。

A 実際の建物内部を見ることは困難であるため、構造計算書を活用し、今次津波をもとに浸水の高さや周囲の状況を加味し、津波の波力による浮力、重力、転倒力や洗掘、周囲の漂流物の衝突などの項目に対して、耐えられるか否かを計算するものである。

Q 調査結果に基づき、津波避難ビルの安全性、堅牢性に対し、市が一定の担保を与える形となるが、今後、津波が発生した際の責任の所在について伺う。

A 市の責任の範囲としては、調査結果に基づいた津波避難ビルの指定を基本としていく。

環境教育委員会

一般管理費について

Q 教諭が児童に対して行ったとされる体罰が要因で、心的外傷後ストレス障害、いわゆるPTSDになったのか伺う。

A 教諭が児童に対して行ったとされる体罰が要因で、心的外傷後ストレス障害、いわゆるPTSDになったのか伺う。

A 体罰がその一因になっているという認識がある。

Q 児童の心のケアについて伺う。

A スクールカウンセラーの派遣等について検討を行ったが、病院治療に専念したいという保護者の意向があり、積極的な関与はできなかった。

Q 今後の教育活動のあり方について伺う。

A 指導する側の教職員は、体罰を行ってはならないということとを理解したうえで、子どもたち一人一人に合った生活指導、学習指導を学校全体で考え、教育活動を展開していく。

教育指導奨励費について

Q バス借上料について伺う。

A 「ミュージカルジバング青春記」への無料招待に伴うバス借上料である。

Q 「ミュージカルジバング青春記」無料招待の対象者及び参加予定校について伺う。

A 「みやぎの子どもたちをミュージカル「支倉常長」に招待する実行委員会」の御協力により、宮城県内の子どもたち約1万人が無料招待されたことに伴い、小学校33校、中学校3校の合計2460人が参加予定である。

Q 歴史的人物を題材にした教育について伺う。

A 小・中学校の社会科の副読本の中で、石巻地方をはじめとした先人の功績を紹介するなど、「みやぎの志教育」を実践しており、本ミュージカルの観劇も、その教育の環境として行う。

小学校施設維持整備費について

Q 予算内容について伺う。

A 平成27年3月に飯野川第二小学校が閉校し、跡地利用として企業誘致のために活用することを方針決定したことから、老朽化の著しい体育館及びプールを解体する経費である。

Q 飯野川第二小学校敷地の国有地の有無について伺う。

A 校舎及び体育館の敷地の一部が国有地であることから、国有地問題を早急に解決し、企業誘致に取り組んでいく。

スポーツ国際大会等機運醸成事業について

Q 事業の内容について伺う。

A ニュースポーツフェスタ、ボールゲームフェスタ、あすチャレスタール、ラグビーワールドカップ・東京オリンピック機運醸成事業、みんなで聖火の火をつくろうの6事業を計画している。

講師謝礼金について伺う。

A オリジナルやトップアスリートを招聘する際の謝礼金である。

保健福祉委員会

石巻市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について

Q 本条例の改正に伴い、所得制限を撤廃した場合の子ども医療費助成の費用見込み額について伺う。

A 約7700万円と見込んでいます。

平成29年度石巻市一般会計補正予算(第2号)について

Q 高齢者施設等防犯防災対策事業の具体的な内容について伺う。

A 防犯対策については、施設内外に防犯カメラ、人感センサー等を設置するものであり、防災対策については、高齢者施設にスプリンクラー等を設置するものである。

Q その内容については、防災対策における既存の有料老人ホーム、2施設のスプリンクラー等の設置に対する補助金である。

Q 民間保育所建設助成事業により整備される保育所及び開設

時期等について伺う。

A 株式会社で整備するものが2施設、社会福祉法人で整備するものが1施設の合計3施設で、開設場所は蛇田、鹿妻、二番谷地区である。対象年齢は0歳から5歳とし、3施設の定員合計は250人であり、開設の時期は、平成30年4月1日の予定で進めている。

Q また、今後の保育所の再編計画の考え方について質疑があり、保護者は、自宅や職場に近い保育所を希望されるが、保育の必要性や利用内容によって希望の保育所に入所できない場合は、通勤経路の保育所に入所できるように形での整備を進める。

Q 搜索等業務委託の内容及び委託先について伺う。

A いまだ搜索が行われていない尾崎地区の弘象山南側海岸線で重機を使用して搜索を行うものであり、委託先は、株式会社スリーテックである。

平成29年度石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について

Q 国民健康保険運営の都道府県単位化による保険税の課税3方式への移行時期について伺う。

A 平成30年度からの移行、または平成32年度までの段階的な移行などを、本市が設置する国民健康保険運営協議会に諮問する。

産業建設委員会

石巻市かわまち交流拠点条例について

Q 指定管理者の選定方法及び募集範囲について伺う。

A 公募により募集し、選定委員会を設ける予定である。基本的には地元団体等を優先と考えているが、地元からの応募がない場合には、優先順位等を設定したい。

平成29年度石巻市一般会計補正予算(第2号)について

Q 企業導入戦略基本構想策定業務の中で、石巻市への投資メ리트をどのように打ち出すのか伺う。

A 企業立地に関する助成金等であり、また、石巻市の特性である、大きな港を抱えていること、三陸道による陸送の優位点など、強みの部分を生かし、全国的な情報も得ながら方針を詰めていき、その中で一番の魅力と、それをどのように発信していくかを考えていきたい。

Q 鮎川地区観光施設整備事業の進捗状況について伺う。

A 観光物産交流施設等を来年4月以降整備できるよう、基盤整備を進めており、設計関係についても、今年度内に基本設計、実施設計、地質調査を進めたい考えである。

Q 中浦橋釜北橋線交差点改良事業の進捗状況と今後の予定について伺う。

A 設計・用地買収が済んでおり、北上運河にかかる橋の拡幅工事のための河川占用手続きを行って

6月中には、河川占用許可がおりるため、今年の渇水期である11月から下部工の工事を予定している。

Q 石巻工業港運河線街路整備事業の用地取得及び工事予定について伺う。

A 地権者は全体で110人であり、取得率は約30パーセントである。国道45号の右折レーン確保のための拡幅工事および北上運河に架設する橋の橋台2基の工事を予定している。

Q 中瀬公園整備事業の概要及び中瀬公園の位置付けについて伺う。

A 既存公園を除く約3・6ヘクタール分の実施設計、中瀬地内にある建物の補償調査である。

平成27年度に基本計画をまとめており、まちの中の親水空間と位置付けている。市民が川と親しむといった空間であり、また対岸のかわまちの施設などつながれば、相乗効果が生まれるものと考えている。

Q 中瀬公園の用地取得状況について伺う。

A 取得していない土地は、50筆、面積にして約2・2ヘクタールである。

第2回定例会 委員長報告の様子



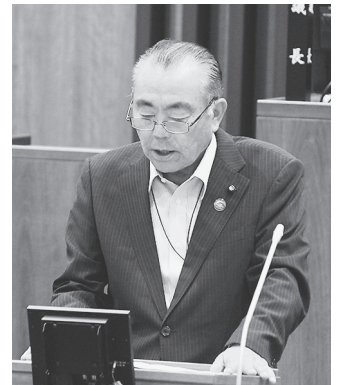
木村忠良
総務企画委員長



櫻田誠子
環境教育委員長



阿部正春
保健福祉委員長



千田直人
産業建設委員長

第2回定例会に提出された陳情

『安全・安心で快適な暮らしを支える地元建設業の受注機会の確保と総合評価方式の導入について』

(提出者)石巻市災害防止協会 会長 阿部 哲男
宮城県建設業協会石巻支部 支部長 若生 保彦

『石巻商工会議所会館建設にかかる要望書』

(提出者)石巻商工会議所 会頭 浅野 亨

『就学援助の拡充と運用の見直しを求める陳情書』

(提出者)民主教育をすすめる宮城の会 代表 太田 直道

これらの陳情は、全議員へ写しを配付しました。

石巻市議会豆知識

Q 請願、陳情ってどういうこと?

A 市がしている仕事について、こうしてほしいと思っているお願いや意見を文書にして議員を通して市議会に出すことを請願と言います。

議員を通さずに文書を市議会に直接出すことを陳情と言います。



新しい市議会議員をお知らせします

(4月23日実施の補欠選挙により当選)

平成29年4月23日に石巻市議会議員の補欠選挙が行われ、新たに2人の議員が誕生しましたのでお知らせいたします。



- ①佐藤 雄一
- ②北村字天塩1-2
- ③昭和54年9月1日
- ④1番
- ⑤ニュー石巻
- ⑥産業建設委員会
- ⑦東日本大震災復興創生特別委員会



- ①阿部 浩章
- ②貞山三丁目3-10
- ③昭和37年9月20日
- ④16番
- ⑤石巻復興の会
- ⑥総務企画委員会
- ⑦東日本大震災復興創生特別委員会

- ①氏名
- ②住所
- ③生年月日
- ④議席番号
- ⑤会派
- ⑥常任委員会
- ⑦特別委員会

一般質問

議員20人が登壇 市政を問う!

第2回定例会の一般質問は、6月21日、22日、23日、26日、27日の5日間行われました。今回は20人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をただしました。その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは、質問を行った議員自らが市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

一般質問通告一覧

(※議員名の前に付いている番号は質問順序です)

<p>①遠藤 宏昭</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 かなんパークゴルフ場の整備方針について 2 行政委員と町内会長の職務について 	<p>⑩奥山 浩幸</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 鳥獣被害対策について 2 スポーツで地域を元気に - 今後の事業展開について -
<p>②千田 直人</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「弾道ミサイル発射時の行動」としたチラシ配布について 2 有害鳥獣捕獲隊効果と解体処理場建設について 3 新市まちづくり計画事業について 	<p>⑪山口 荘一郎</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 タイムリミットへの向き合い方
<p>③阿部 利基</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 石巻市のセールスについて 2 若い世代の石巻市への定住化促進に向けて 3 市役所周辺事情について 4 加計学園問題を受けて大川小学校事故第三者委員会の対応について 	<p>⑫近藤 孝</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域の価値を高める新たな事業の取り組みについて 2 新市のまちづくり計画について 3 産業の活性化について
<p>④森山 行輝</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市長の政治姿勢について 2 当市におけるいじめについて 3 石巻市長選挙及び石巻市議会議員補欠選挙を終えて 	<p>⑬後藤 兼位</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 復旧・復興加速の課題と行財政運営について
<p>⑤阿部 正春</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 震災からの復興、そして更なる復興に向けて 	<p>⑭水澤 富士江</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 被災者の生活実態に即した支援を 2 教育環境の改善について 3 中心部の諸課題について - 津波避難場所としての整備を -
<p>⑥千葉 眞良</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人口減少対策について 2 中瀬公園整備事業について 3 湊の諸課題について 4 人事課題について 	<p>⑮櫻田 誠子</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「石巻市一般廃棄物処理基本計画」に基づく進捗状況について 2 子育て支援について
<p>⑦佐藤 雄一</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 放課後児童クラブについて 2 仮設住宅集約について 3 石巻市地域おこし協力隊について 4 河南地区の諸課題について 	<p>⑯高橋 憲悦</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 深刻化する鹿による被害、その対策について 2 複合文化施設を核とする芸術・文化の振興策について 3 市長の政治姿勢について
<p>⑧庄司 慈明</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 マイナンバーの厳密な管理を - 市民の安全と安心感の醸成を - 2 津波避難タワー・津波避難ビルの設置の現状と今後 - 防災の視点を貫いてこそ復興事業の完結がある - 	<p>⑰西條 正昭</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 復興完結に向けた3期目の市政運営について 2 半島部・沿岸部の復旧復興加速そして、完結について
<p>⑨渡辺 拓朗</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市長の政治姿勢について 2 市役所庁舎1階の今後について 3 鳥獣対策について 	<p>⑱阿部 正敏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 山下地域における雨水対策について 2 これからの観光政策について 3 復興の象徴「北限のオリーブ」について
	<p>⑲阿部 久一</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 雄勝地区の諸課題について 2 まち・ひと・しごと創生総合戦略について
	<p>⑳楯石 光弘</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 持続可能なまちづくり方策について



遠藤 宏昭 議員

・かなんパークゴルフ場の整備方針について

利用者数の推移を見ても、平成26年度4万4227人、27年度4万9944人、28年度5万2970人と、年々増加しています。

4コース36ホールを備えた「日本パークゴルフ協会公認コース」の本格的なテクニカルコースであり、年間を通してプレーできることが、リピーターを呼び込んでいると思われま

す。利用者からのたつての願いである「1コース9ホールの増設」についてはどのようにお考えか、市長の所見を伺う。また、桃生植立山公園パークゴルフ場の整備事業は計画通り進んでいるのか。



▲かなんパークゴルフ場は毎週月曜日が定休日

健康意識の高まりと共に、パークゴルフの認知度が上がり、プレーを楽しむ市民が増えていることは把握している。地域バランスを考慮して、コースの増設を前向きに検討する。桃生植立山公園は、平成30年4月から利用開始を目指す。

・行政委員と町内会長の職務について

自治組織（町内会）の役員のなり手不足・後継者不足が深刻化している。今後、地域コミュニティの崩壊は、どの地区・地域でも起こり得ます。自治組織の再生・再構築をどのように進めるのか、市長のお考えはどうか。

市職員のみなさんにも積極的に地域活動に参加してもらおう。行政としてしっかりとサポートしていく。



千田 直人 議員

・「弾道ミサイル発射時の行動について」としてチラシ配布について

北朝鮮から発射された弾道ミサイルを想定のことと思うが、核弾頭保有国なので核攻撃を仕掛ける最悪の状況も想像される。国や県の指示で配布か可能性について真意を伺う。

県開催会議において幅広い広報協力依頼があった。ミサイル発射は石巻市民の重大な脅威であり強く非難し厳重に抗議する。

・有害鳥獣捕獲隊効果と解体処理場建設について

野生シカ被害の広がりが深刻化「被害を減らすには徹底的な排除」捕獲隊の活動状況と効果を伺う。解体処理場を小積浜に建設だが、河北署管内での解体処理場整備も欠かせない。

昨年度捕獲日数を40日から80日とした結果251頭増の696頭捕獲、本年度は100日にする。河北署管内に民間運営の解体処理施設がありお願

・新市まちづくり計画事業について

2020年東京オリンピック競技大会にチュニジア共和国選手団の事前キャンプを受け入れ、友好交流事業継続すべきだが伺う。

チュニジア政府ならびに協議団体等のニーズ把握に努めたい。

屋敷三号線、新古川西堤線、河北境一号線、河北境二号線等の道路改良事業の推移を伺う。

関係機関と協議の上、整備手法や事業開始時期を検討したい。



阿部 利基 議員

・石巻市のセールスについて

宮城県への外国人観光客、特に震災後伸びている台湾について。以前から交流について私は訴えており伸び率については嬉しい限りだが、DMOと連携して石巻に誘導してはどうか。

県内の情勢は分析し民間と共有しながらさらなるセールスを行いたい。

意見 さらに、大型客船誘致も盛んに行なっている中で、宿泊に結びつけ消費単価を上げていくような流れが必須である。ぜひ事業の中で反映させて

・若い世代の石巻市への定住化促進に向けて

交流人口から定住化を増やす、持つてくる議論は盛んだが、若い世代を出さないという議論は少ない。戦略を組む必要があるのでは。

人口減少対策に有効であるため、就職や子育て環境の拡充で戦略を組み立てたい。

・市役所周辺事情について

一階エスタの撤退により空洞化が心配されるが、平面駐車場不足や市役所外面の広告が難しいなど課題がある。店舗と前向きに協議する必要があるのではないか。

議員指摘の通りなので柔軟に対応したい。

・加計学園問題をを受けて大川小学校事故第三者委員会の対応について

第三者検証委員会から遺族を排除したのは前川氏という報道がある。今一度検証をすることは、ある意味でお互いが歩み寄る機会になると思うがどうか。

司法に預けられているので市としてはやらな



森山 行輝 議員

・市長の政治姿勢について

問 マスコミ報道によると、市長はこの4年の任期終了後、退任されるとのことですが、その真意と経緯について伺う。

答 複合文化施設の完成時期と3期目の任期が重なり、一つの区切りと発言したものです。

復興の完結と、未来へとつなぐまちづくりに全身全霊を傾注していくのが私の真意。

問 市立病院に産婦人科・小児科の新設見込みについて。

答 全国の関係機関にさらなる働きかけをし、実現に向けて最大限の努力を続ける。

問 イベント開催が多くなり、「スポーツ課」設置が必要ではないか。

答 設置に向け検討したい。

・当市におけるいじめについて

問 石巻市の小・中学校におけるいじめの実態について伺う。

答 平成28年度のいじめ認知件数は、小学校234件、中学校89件と、ここ数年増加傾向。いじめの内容は、「からかい、悪口、かげ口、仲間外れ」等があり、認知した案件については、校内組織で対策を練り、スクールカウンセラー等による対応も行っている。

問 いじめから自殺に至ることへの対応は。

答 「ストップいじめ石巻サミット」の開催、人権教育講演会等の実施や長期休業していることでの見守りの強化を行っている。



阿部 正春 議員

・震災からの復興、そして更なる復興に向けて

問 震災から6年3ヶ月が過ぎ市長の最優先課題である住宅の再建もほぼ完了し半島の高台移転も進んだが浜の人口を増やす施策が見えない。桃浦の漁業者は水産特区の中で漁を営み何とか浜を残そうとしている。漁業者は20年後、今の半分にまで減少すると言われ現状を維持するためには年間100人の漁業者の担い手確保が必要とされるが半島部浜の新規参入者、浜の賑わいを取り戻すための住宅の確保、担い手の確保をどのように考えるか尋ねる。石巻水産卸売市場が一昨年9月に開場したがいまだ市場の半分が電気の点くことのない状況になっている、市場建設時にもイベント広場、石巻の食を発信する生鮮マーケット等、色々と提案してきたが、漁船誘致などこれらを担って行くことされる水産振興センター、市場の何を担って行く施設なのか、この度中央にオープンする生鮮マーケット、誰が考えても市場周辺にあるのが望ましいと考え、前から提案もしてきたが、これは最初から中心市街地活性化の中で決まっていたのか伺う。また、ただ元に戻るだけの復興に不安を感じる、これまで以上に付加価値を付けた復興を成し遂げなければならないと思うが市長の所見を伺う。

答 組合員になるには数年かかることから当分はシェアハウスで対応する。水産振興センターは石巻の水産業の振興を担う拠点施設としてさらなる水産振興に取り組んでいく。



千葉 眞良 議員

・湊の諸課題について

問 国道398号の事業進捗は。事業が目に見える状況になっていないが現状はどうなっているのか。

答 昨年度、発注した湊歩道橋・大門崎歩道橋の設置工事が、本年7月中旬から現場着手の見込みとなっている。

また、これまで2度の入札不調となった、石巻消防署湊出張所跡地付近に位置する区間、約500メートルの道路改良工事については、今月中に3回目の開札を予定しており、その他の工区についても、用地の取得及び水道等の埋設物に対する関係者協議により、事業の進展が見込まれるなど、早期着工に向け、鋭意取り組んでいる。

問 西内海橋整備事業の現状と課題は。

答 今年度から橋梁下部工の工事着手へ向けて、現在発注準備を行っており、平成32年度の完成を目指し作業を進めている。課題としては、北上川下流河川事務所等との調整が必要と考えている。

問 東内海橋の完成後の管理は市となるのか。

答 「東内海橋」については、来年度の工事発注により、平成32年度の完成を目指し作業を進めており、完成後は、市道として市が管理することで調整を図っていると伺う。



佐藤 雄一 議員

・河南地区の諸課題について

問 佳景山駅周辺の渋滞解消のために用地買収して送迎用のロータリーを作ってはどうか。
また、石巻北高校正門前の渋滞解消、安全のために踏切から鹿又小の前までの堀にふたをして道幅を広げてはどうか。

答 関係機関と協議、検討して進める。

問 河南地区では街灯が少ない地区がある。街灯を増やしてはどうか。

答 街灯LED化を進めている。調査して必要な場所、改善する所は検討する。

・放課後児童クラブについて

問 北村では施設までの移動に危険があり、広渕では待機児童問題、和渕でも部屋が狭く10名しか受入れできない。市全域で整備して欲しいが、今後の計画はどうなっているか。

答 二俣地区、北上地区に来年度建設予定。

問 指導員不足解消に給料を上げてはどうか。

答 待遇改善については、他の臨時職員と均衡を図りながら見直し等も考えていきたい。

・仮設住宅集約について

問 現在の入居率、集約の時期はいつ頃か。

答 現在27%。来年度末には石巻地区10箇所、市内合計17箇所を集約する計画。

・石巻地域おこし協力隊について

問 活動内容はどのようなものになるのか。

答 まず受入れ事業者を決め、隊員を希望する人材を6名程度募集して地域活性化を図る。



庄司 慈明 議員

・マイナンバーの厳密な管理を
—市民の安全と安心感の醸成を—

問 10件・26名分のマイナンバーの誤送付があった。マイナンバーの部分は袋とじにしたり、簡易書留での郵送にしたことは評価するが、その誤送付の原因と対応は。

答 本来送付されるべきではない事業所にマイナンバーを記載した書類を送付した。照合作業を複数回実施する等の対応をした。

問 個人番号は、死後もその番号は消えることがない生涯不変のもので、その変更は原則認められないが、個人番号が漏れいのおそれあるときは変更ができる。変更の手続きは。

答 対応しているが、時間がかかる。

問 マイナンバーのシステム構築費用等は。

答 交付率は7・36%、この4年間で8億円の費用発生があり、うち国の負担は2億円弱で、市の負担は6億円である。今後もこの費用の把握は経年に行うこととする。

・津波避難タワー・ビルの設置の現状と今後

問 設置の進捗状況とまだ網羅されていない地域の解決の展望は。

答 3地域が未網羅だが、湊西地区と大街道南地区は、今年度中に津波避難ビルを指定できる予定。松並地区は現存の歩道橋を活用するなど、検討を重ねていく。



渡辺 拓朗 議員

・市長の政治姿勢について

問 復興予算の縮小に伴い財政状況は悪化し財政調整基金も数年で底をつく。市長就任三期目に挑む所信表明の中で財政健全化について触れていない。財政状況の認識を伺う。

答 収支の差額を財政調整基金の繰り入れで対応している。人口減少による普通交付税の減少、復興事業の進展に伴う維持管理経費の増加など懸念要因が多数ある。復興期間の終了を見据えた持続可能な財政運営に努める。

問 高齢社会を支える次世代のためにも財政健全化へ道筋を示すため具体策を提示するべきではないか。

答 復興完了後を見据え公共施設の適正管理や職員の削減計画をどのように進めるのか目標を決め議会にも相談しながら復興期間の中で持続可能な財政運営の道筋をつけたい。

問 国の財政があつて地方が成り立っている。債務残高の返済は国のほうが厳しい。国からの地方交付税に過度に頼り切るべきではないと考えるがいかがか。

答 国は来年度までの交付額は保証しているが2019年度以降は事業効果の薄いものには削減する方針を出している。国・地方も民間事業委託などで収支バランスを整え株価の暴落や国債の金利上昇を防ぐため国と地方が一体となって財政再建に取り組みなければならない。



奥山 浩幸 議員

・鳥獣被害対策について

問 近年、シカの行動範囲が農村地帯にまで及び、シカによる農作物の被害が問題となつている。シカの被害は、自然災害というより「社会問題のひとつである」との認識に立ち、長期的、計画的な取り組みが必要であり、対策を講じていく事が重要と考える。これまでの管理計画は、実行手段を欠き机上の空論と言わざるを得ない。現実問題として、ハンターの減少、高齢化が進む中、猟友会の会員に負担をかける状況になつている。今こそ、猟友会に依存するだけでなく、猟友会と協調しながら地域全体で考える体制づくりを構築する時期にきているのではないか。

答 また、被害農家より「自衛隊による駆除」を多数要望されるが、これまで自衛隊に協力要請した自治体の事例を、当市ではどのように分析されているのか、宮城県では自衛隊による駆除を検討されているのか伺う。

答 猟友会が、被害防止対策を取り組もうとする集落との連携により、わな猟免許取得や防護柵、わな設置など捕獲に関する技術を伝授する体制づくりに取り組み軽減を図る。自衛隊による捕獲頭数は少数で、成果があがらない現状で委託するのは困難である。宮城県では、現段階において予定はない。



▲漁網を活用した進入防止柵 真野内原地区



山口 荘一郎 議員

問 ささえあいセンター用地の現時点での見通しは。また、土地収用の実績はあるか。

答 全7件中3件で未合意だが、市の意気込みとして7月を目途に合意を目指す。これまで石巻市による土地収用の実績は無いと思われる。

市長 用地交渉で最も大切なのは相手との信頼関係であり、丁寧に進めていく。

問 市立病院は地域包括ケアに対してどのように関わるのか、新院長に問う。

答 在宅療養支援病院として①かかりつけ医への後方バードの提供、②介護施設とのネットワークづくり、③半島・沿岸部に力を入れた訪問診療、④地域医療連携室の機能強化に取り組みほか、人材育成にあたっては医科薬科大学サテライトや総合診療医の専門医制度などへの取り組みを成果に繋げていく。

問 奨学金返還支援事業に産科医を加えることも検討すべき。

答 検討していく。

問 市の工事により、陸前山下駅から続く市道とバイパスの交差点で渋滞時の右折がますます困難になったが、改善策は。

答 これまでも警察協議をしてきたが、信号時間の微調整は主交通（バイパス）と従交通（市道）の関係性もあり難しい状況である。推移を見守りながら改善策について警察と協議をしていく。

問 小中学校の学区再編計画について、年度末というタイムリミットだけが示され、動きが見えない。

答 7月以降に調整の整った学校から説明会を開催し、それとは別に教育委員会として全体の考え方を示していかなければならないと考えている。



近藤 孝 議員

・地域の価値を高める新たな事業について

問 中心市街地無電柱化事業について。

答 実施する路線の選定や、財源、無電柱化の方法等、調整・研究に取り組む。現在、「立町大通り」地区より要望が出されている。

問 石巻く新庄高規格道路の整備見通しは。

答 昨年に引き続き、本年度も調査費が措置され、事業化に向けた計画段階評価を行う準備を進めていると伺っている。

問 河南川尻線の整備見通しは。

答 今後とも国に対して強く要望していく。

問 新市まちづくり計画の進捗状況は。

答 完了した事業を含め約8割の事業が実施済み、または実施予定となつている。今後は、地域まちづくり委員会からの意見等を踏まえ重要性、必要性を勘案しながら実施計画において進捗管理を進めていく。

問 合併から13年目を迎え地域まちづくり委員会のあり方等について検討すべきでは。

答 各総合支所と協議しながら検討していく。

・産業の活性化について

問 河南前山地区の企業誘致の状況は。

答 自動車関連企業から進出の内諾を得ていたが、震災により中断、仮設の移転、集約状況を見ながら改めて折衝を再開していく。

問 圃場の均平作業機械導入に独自支援を。

答 関係部署と補助率増高が可能かどうか研究していく。



後藤 兼位 議員

問 復興公営住宅整備事業の進捗状況について。

答 今年度末に完成予定戸数は市街地で3827戸、半島沿岸部で426戸、合計4253戸で約90%の進捗率を見込んでいる。平成30年度の事業完了を目指す。

問 復興住宅の入居後の不具合の声を多く聞くが。

答 平成28年度、申し出のあった不具合は557件で、管理戸数に対する割合は約16%で、主な不具合の内容は、サッシや建具等188件で全体の約34%、床や壁の傷等が83件約15%、照明電気61件約11%。

問 復興住宅の不良箇所について高齢者はアンケートに答えづらい、福祉部で行っている見守り隊等の協力をもらい、聞き取る方法も有効ではないか。住んで初めて確認される。

答 議員ご提案の通り、関係団体には、訪問等の際に住宅の不具合等の聞き取りについて連携して対応してまいりたい。

問 産業系の区画整理事業における下水道の受益者負担を、産業政策の視点から免除すべきだ。

答 企業誘致のインセンティブという部分で、ぜひ負担等の軽減に配慮するのが最も効果的であると考え、今後、関係部と協議していく。

問 釜大街道地区の冠水対策として、早急に、仮設ポンプを増設して排水能力を高めるべきだ。

答 より早く釜ポンプ場に流速をつけて流量を確保する等、あらゆる角度から検討して方策を実施して行きたい。



水澤富士江 議員

・被災者の生活実態に即した支援を

問 今後復興住宅の家賃が上がる事に対し、多くの入居者が不安を感じている。「家賃低減事業」の延長をすべき。

答 復興住宅入居世帯の8割が低減対象。宮城県市長会を通じ国に対し要望している。本市として延長については、検討を進める。

問 復興住宅入居者の4割が65歳以上の高齢者「通院、買い物のタクシー代の負担が重い。」との声が多い。移動手段の確保は、市民全体の問題です。「交通戦略」の具体化を。

答 骨格路線、路線バス、住民バス、乗合タクシーなど来年度までに計画を立てる。また、免許返納者への一年間のフリーパス等を考えている。

・教育環境の改善について

問 就学援助入学準備金の前倒し支給を。

答 これまでの7月支給を入学前に支給を検討。

問 入学前まで和式トイレを使ったことがない児童や、災害時避難所である学校トイレの洋式化を。

答 現在小学校40・1%、中学校で37・7%。今後設置推進に努める。

・中心部の諸課題について

・津波非難場所としての整備を

問 北鰯山墓地が今年公告期間終了し、無縁墳墓改葬事業終了後、災害時の一時避難場所へ、整備をすべき。

答 1万㎡、250台が駐車可能と思われるので活用できるように協議する。



櫻田 誠子 議員

・「石巻市一般廃棄物処理基本計画」に基づく進捗状況について

問 ごみの総量の推移、ごみ減量策について。

答 平成25年度から28年度を比較すると減少傾向ではあるが、なお家庭や飲食店等の食品廃棄を減らすため「30・10運動」の推進に向け、市報、ポスター等で一層の周知に努めていく。

問 今年度小型家電リサイクルに取り組むが詳細を伺う。また富谷市での「都市鉱山から作る皆のメダルプロジェクト」の参加は、オリンピックの機運向上のため、参考にすべき。

答 10月から市内15か所で小型家電回収ボックスにて有用金属リサイクル実施と最終処分場の削減を計る。プロジェクト参加検討する。

問 ごみ集積所は町内会等で管理だが、指定日以外や混合ごみ、粗大ごみ排出モラル悪い。

答 ごみの排出について市への苦情もあり、協議しポスター掲示や防犯カメラで対応する。

・子育て支援について

問 国で就学援助小学校入学前支給を可能とした。石巻でも必要な時に支給できるよう実施すべき。

答 今年度から、補助金の単価も2倍となり、被災者世帯の課題があるが実施に向け努力する。また支援制度の幅広い周知に努める。

問 発達障がい、早期発見と療育が重要で切れ目のない支援と相談体制の充実が必要だ。

答 切れ目のない支援のため、各部連携し対応に努める。今後、発達障がいセンターの設置を目指す。特別支援教育支援員の研修の充実や相談体制を整え、人材確保に積極的な取り組みをする。



高橋 憲悦 議員

問 深刻化する鹿による被害、その対策について。
 ①地域で鹿対策に立ち上げる組織に対する支援について。
 ②防護柵用に、漁業者が負担して廃棄している漁網を、鹿被害の地区に無償で提供する「廃棄漁網のリサイクル」を考えると、③啓発活動に防災無線の使用について。④捕獲後の鹿肉加工施設について。

答 ①検討する。②良策であり漁業者、漁協、農協とも連携して、実現のため関係機関に働きかける。
 ③至急使用についてのルール化を行い、使用可にしたい。④現時点では難しい。

問 複合文化施設を核とする芸術・文化の振興策について。①指定管理について。②財政負担について。

答 ①同施設は復興のシンボルであり、平成33年3月のオープンをめざし、ホール等は芸術文化振興財団を考えており、早い時点から準備したい。②総事業費約130億円、年間維持費は3億4千万円。利用収入は4千万円。差引3億円の不足が見込まれ、施設の規模を含め、縮減に努めたい。

問 市長の政治姿勢について。①議会との連携について。②行政組織の機能強化策について。

答 ①これまで以上に情報提供を行い、車の両輪のような市政運営に努めたい。②庁議を含め、必要な事務事業においては、プロジェクト体制も視野に入れて対応したい。



西條 正昭 議員

・復興完結に向けた市長三期目の市政運営について

問 市民生活の復興について
 災害に強い道路交通ネットワークの構築について。

答 河北・北上地区の幹線道路である相野田〜牧野巢間は、狭隘かつ曲線の未改良区間であり、宮城県に対し事業化に向け粘り強く働きかけていく。

問 産業の再生と人材育成について
 石巻漁港、石巻工業港の背後地の産業系区画整理事業の早期整備と企業誘致について。

答 早期分譲と積極的な企業誘致活動を行い、雇用の場の確保に努めていく。

問 石巻市北限オリーププロジェクトの推進と産業の活性化について。

答 石巻市北限オリープ研究会を中心に産業の活性化を図っていく。

問 子育て環境の充実について
 子供を預けられる環境整備について。

答 放課後児童クラブの対象児童を小学校4年生から6年生まで拡大。今年度は北上・二保地区放課後児童クラブの基本・実施設設計を行う。保育施設の整備と併せ保育士確保策として、今年度、奨学金返済支援事業の対象に保育士を加え、4名に交付決定した。

問 子育て世代への経済的負担の軽減について。

答 第三子以降の子供が小学校に入学した際、3万円を支給する。子ども医療費助成については、来年度から所得制限撤廃を今定例会に提案している。

・半島部・沿岸部の復旧復興加速そして、完結について

問 市長の肝いりで創設された「半島復興事業部」について。

答 所管する事業は、拠点エリア整備事業、漁業集落事業、低平地整備事業等で事業調整会議を密に開催するなど、これまで以上に加速させるよう努めていく。



阿部 正敏 議員

・山下地域の雨水対策について

問 なぜ雨水対策費800億円が措置されたのか。

答 東日本大震災によって地盤沈下、さらに防潮堤建設に伴って内水排水ができなくなり、強制排水が必要になったため。

問 山下地区、清水町一・二丁目、新橋、西山町、貞山二丁目から五丁目など、あきらめていた雨水対策、具体的整備計画は。

答 横堤ポンプ場近くに縦坑の穴をつくり、地下約15mに4mを超える巨大な雨水路のバイパス道路の地下を北上川河口に造る中央排水ポンプ場まで引張って排水するので山下地域の冠水はほぼ解消する。

問 工期はいつから。

答 今年10月から平成32年度まで復興期間最終年度内に終了予定。

・北限のオリープについて

問 オリープはこの地域に根付くのか。

答 すでに北上、河北、雄勝、牡鹿など苗木の越冬が確認されたので充分根付くと思う。

問 苗木の植樹場所を北里大学放牧場などのまとまった場所での栽培方法を考えてはどうか。

答 植樹場所としての対象として調査する。

意見 南浜祈念公園、釜幹線水路の埋め立て後への植樹場所としては是非検討してほしい。要望としてお願いしたい。



阿部 久一 議員

・雄勝地区の諸課題について

問 大須灯台までの道路整備の進捗状況と今後の整備計画はどのようになっていくのか。

答 昨年度可能調査を進め、今年度、総合計画に載せ来年度以降に事業に取り組む。

問 名振尾ノ埜間の県道改良工事は合併以前から陳情や要望が出されているが進展のきざしが無い。災害時の避難道路として、また、国立復興公園にも指定されており観光を結ぶ重要路線でもあるので国県に対して強く働きかけていただきたい。

答 名振尾ノ埜間は県道である事から、改良事業に早期に着手して頂くよう県の関係機関に対し、粘り強く働きかけてまいりたい。

・まち・ひと・しごと創生総合戦略について
問 なぜ、「地域計画」に魚市場と連携した街並が反映されなかったのか。

答 超高齢化社会を見据えた、コンパクトで賑わいと包摂力のある「医」「職」「住」の積極型復興まちづくりの実現を目指した。

問 拠点地区と各集落との市民バス等による高校通学等が利用できるように時間帯や路線の改定及び土日の運行はできないのか。

答 住民バスの利便性の向上に向けて各運行協議会等において、運行経路、便数、運行ダイヤ等について協議中、土日運行についても利用者のニーズを把握しながら検討中である。



楯石 光弘 議員

・持続可能なまちづくり方策について

問 高度経済成長から低成長、超少子高齢、人口減少、右肩下がり時代が変わった。増田レポート以来、都市間競争が激しい。住み良さランキングを上げ、未来に誇れる持続可能なまちづくり方策が大切と考えるが。

答 人口減少を阻止・克服するため「石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に進め持続可能な都市を目指す。

問 東京・仙台一極集中が際立つ中、一方では心の豊かさ等、共生・脱成長型田舎暮らし、田園回帰の波が見られる。積極的に情報を発信し、総力を挙げて支援すべきと考えるが。

答 移住希望者の相談窓口となる移住コンシェルジュを設置し、相談・助言、空き家物件、就労情報提供、宿泊体験ツアー、就業体験、起業への人材育成、地元民との交流、移住交流事業等で支援したい。

問 長年親しまれてきた里山が荒れ、特に林道が車で通れなくなっている。防災、生物多様性からも好ましくない。例えば里山保全チャリソンコ大会等活用対策は。

答 今後の維持管理手法等について、関係部署と検討したい。

問 人口が減っているのに世帯が増えている。持続可能なまちづくりは手間ひまかけた持続可能な人、夫婦、家庭づくりから始まると考える、身近な家族の連携、身近なリターン同居の奨励も一つの方策と考えるが。

答 良い方法があれば、検討したい。

「新規採用職員研修」

6月21日、石巻市新規採用職員が研修の一環として第2回定例会を傍聴しました。



《会派構成》

ニユー石巻

会長 阿部 欽一郎
副会長 阿部 久一
副会長 木村 忠良
幹事長 遠藤 宏昭
副幹事長 阿部 利基
会計 高橋 憲悦
会員 阿部 正春
会員 奥山 浩幸
会員 楯石 光弘
会員 大森 秀一
会員 佐藤 雄一
顧問 森山 行輝
相談役 安倍 太郎

創生会

会長 青山 久栄
副会長 首藤 博敏
幹事長 千葉 眞良
会計 山口 莊一郎
顧問 高橋 栄一

公明会

会長 伊藤 啓二
幹事長 渡辺 拓朗
会計 櫻田 誠子

日本共産党石巻市議団

団長 庄司 慈明
幹事長／会計 水澤 富士江

石巻復興の会

会長 千田 直人
副会長 西條 正昭
副会長 近藤 孝
幹事長／会計 後藤 兼位
副幹事長 阿部 正敏
会員 阿部 浩章

無会派

丹野 清

※丹野清議員は、ニユー石巻に所属しておりますが、議長就任により無会派となりました。

石巻市議会豆知識



Q 会派とは

A 会派とは市政に対して同じ考えを持った議員が集まり結成したグループのことです。

第1回臨時会に提出された

議案と審議結果

(平成29年5月22日開催)

その他

(原案可決)

- ・工事請負の契約締結について
- ・(仮称)観光交流施設(かわまち公共施設)建設工事
- ・(泊地区)コミュニケーションセンター屋内退避施設改修工事
- ・(23年)災長面漁港災害復旧(その1)工事
- ・(23年)災名振漁港海岸保全施設災害復旧ほか整備工事
- ・(23年)災鮫ノ浦漁港災害復旧工事
- ・(23年)災折ノ浜漁港海岸保全施設災害復旧ほか整備工事
- ・(船戸水門)災害復旧工事

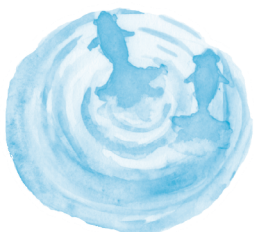
人 事

・監査委員を選任するにつき同意を求めることについて
(識見を有する者のうちから選任する者)

↓ 堀内賢市氏・矢川昌宏氏を選任することに同意

・教育委員会委員を任命するにつき同意を求めることについて

↓ 阿部邦英氏・遠藤俊子氏を任命することに同意



議会運営委員会

【実施日】

平成29年5月9日～11日

【視察地及び視察項目】

- 愛媛県松山市『議会改革の取り組みについて』
- 香川県三豊市『議会改革の取り組みについて』

近年、議会改革を推進している二つの市議会を訪問し、議会報告会等の考え方について説明があり、本市議会においても今後における議会改革の参考となる一助とした。

また、意思決定機関である議会や議員の責任も増大していく中で、議会権能の更なる充実強化を図るため調査研究をさらに行う必要性を再認識した。

松山市議会の議会活性化の取り組みについて、段階的な検討・協議、そして研修を経て議員間の議会改革の高まりと意識改革が浸透し、丁寧な進め方で松山市議会基本条例を制定していた。

昨今、行政や議会から情報を発信しているものの政治に無関心で選挙の投票率も低下している状況の中、議会改革は議員及び議会として全員で取り組まねばならない重要な課題である。特に情報発信の手段として、市民を身近に感じ、直接意見や要望を聞くことが出来るのは議会報告会であり、松山市議会では今年度より、定例会の審査内容の報告を従来通り授業型(対面式)で行うが、意見交換時から常任委員会ごとのテーマでグループ分けを行い、対話型(ワーク

ング方式)に変更して開催する予定であるとの説明であった。

本市議会においても参加する市民が平等に、気軽に質問し意見できる環境づくりを考えていかなければならないと感じた。

議会改革は、先進事例を考慮しつつ地域の特性や市の現況を把握し、試行錯誤しながら一つ一つ市民との距離を身近なものとして醸成できるように努めていかなければならない。

三豊市議会においては、「市民に信頼され、市民と共に歩む闊達な議会を目指すことを規定した」議会基本条例を掲げている。基本条例を制定し「議会報告会」を開催している多くの議会の苦悩は参加者が少ないとのことだが、三豊市議会の「議会報告会」の対応を見ると、年2回、5月と11月に、旧小学校区単位(26か所)で開催、5班集体制とし、1会場に赴く議員は4人程度と議員全員の労力と労苦が推察される。また、平成18年1月に三豊郡の7町が合併し面積222・71km²と地政学的な困難を乗り越えての基本条例の制定であり、目的達成度は先進的な事例と言えよう。

石巻市議会基本条例において「議



会の説明責任」と「市民との意見交換の場」を具現化する一つとして「議会報告会」を明文化しており議会自らが積極的に、また少なくとも年1回定期的に実施することを定めている。

三豊市議会の開催地区単位の先例等を参考に議会報告会の実施形態について再考することが必要と思われる。

議会活性化特別委員会の設置により、タブレット端末機の活用等の研究など積極的な取り組みを参考にすべきで、被災地の議会として取り組むべき課題を市民と共有して研究することが必須だと考える。取り組むべき議会改革は数多くあり、それを実行するのは、我々議員自らの意志にあると考える。

石巻市議会豆知識



Q 議会運営委員会とは

A 円滑な議会の運営を期するため、議会運営の全般について、協議し、意見調整を図る委員会です。

議会運営委員会

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
後藤	近藤	水澤	阿部	奥山	千葉	高橋	櫻田	遠藤
兼位	孝	富士江	利基	浩幸	眞良	憲悦	誠子	宏昭

平成28年度 政務活動費執行状況

会派名	人数	交付額	研究 研修費	調査費	資料費	広報 広聴費	人件費	要請・ 陳情 活動費	その他 経費	支出計	残額
ニュー石巻	12	4,320,000		4,053,910				555,230	47,352	4,656,492	△ 336,492
石巻復興の会	5	1,800,000		1,805,026					63,378	1,868,404	△ 68,404
創生会	5	1,800,000	259,464	1,160,813	129,600	108,000			36,540	1,694,417	105,583
公明会	3	1,080,000	2,000	624,647	68,413				28,144	723,204	356,796
日本共産党 石巻市議団	2	720,000			89,220					89,220	630,780
無会派 黒須光男議員	1	360,000					360,000			360,000	0
無会派 安倍太郎議員	1	90,000									90,000
無会派 丹野清議員	1	270,000		12,240						12,240	257,760

(注1) 残額は市に対して返還済です。また、不足は、議員個人が負担しました。

(注2) 議長は、申し合わせにより無会派となります。

政務活動費とは

政務活動費は、議員の調査研究における必要な経費の一部として、「石巻市議会政務活動費交付条例」に基づき交付されています。交付の対象や方法などは次のとおりとなっています。

- 交付の対象 会派（1人会派を含む）
- 交付する額 1人につき、年額36万円（月額30,000円）
- 交付の方法 年度当初に一括交付
- 使 途 基 準 下記のとおり
- 収支報告書 翌年度の4月30日までに提出。領収書（金額にかかわらず全ての領収書）等の写しを添付。



政務活動費使途基準

- 研究研修費 会派が研究会、研修会を開催するために必要な経費又は会派の所属する議員等が他の団体の開催する研究会に参加するために必要な経費
- 調 査 費 会派の行う調査研究活動のために必要な先進地調査又は現地調査に要する経費
- 資 料 費 会派の行う調査研究活動のために必要な資料の作成及び購入に要する経費
- 広報広聴費 会派の市民からの市政及び会派の政策に対する要望、意見等の聴衆及び会派の調査研究活動、議会活動及び市の政策等についての市民への広報に要する経費
- 人 件 費 会派の行う調査研究活動を補助する職員を雇用する経費

5月24日、東京都において、全国市議会議長会第93回定期総会が開催され、次の方々が表彰されました。

◎特別表彰（市議会議員在職25年以上）

森山 行輝 議員

◎一般表彰

千田 直人 議員

（市議会議員在職15年以上）

木村 忠良 議員

（市議会議員在職10年以上）



丹野清議長から表彰状を受け取る森山行輝議員



千田直人議員



木村忠良議員

石巻市議会「第21回議場コンサート」



6月12日の第21回議場コンサートには、アコーディオン奏者の阿部捷正さんに出演していただきました。

アコーディオンの心地よい音色に定例会前の議場が包まれました。

- 曲目
1. ルパン三世のテーマ
 2. エストレリータ
 3. 荒城の月変奏曲
 4. オブリビオン
 5. 北国の春

次回の議場コンサートは、12月に開催予定です。

議会の動き

5月

- 9日 議会運営委員会行政視察(～11日)
全国市議会議長会特定第三種漁港協議会
- 10日 大阪府和泉市議会行政視察来石
- 16日 兵庫県芦屋市議会正副議長来訪
- 17日 千葉県君津市議会行政視察来石
長崎県議会行政視察来石
- 22日 議会運営委員会
第1回臨時会
- 23日 石巻復興の会行政視察(～26日)
公明会行政視察(～25日)
新潟県柏崎市議会行政視察来石
- 24日 富山県射水市議会行政視察来石
全国市議会議長会総会
- 25日 静岡県富士市議会行政視察来石
- 30日 ニュー石巻行政視察(～6月2日)
登米市議会正副議長来訪

6月

- 6日 東松島市議会正副議長来訪
- 8日 議会運営委員会
- 12日 議場コンサート
第2回定例会開会(～27日)
本会議(開会、提案理由説明)
全員協議会
議員政策研究会全体会
総合防災対策特別委員会
東日本大震災復興創生特別委員会
地方創生推進特別委員会
- 13日 本会議(条例案、予算案等審議)
- 15日 総務企画委員会
環境教育委員会
- 16日 保健福祉委員会
産業建設委員会



- 19日 議会運営委員会
- 21日 本会議(一般質問)
- 22日 本会議(一般質問)
- 23日 本会議(一般質問)
- 26日 本会議(一般質問)
総合防災対策特別委員会
議場コンサート実行委員会
- 27日 本会議
(一般質問、委員長報告、追加議案審議、閉会)

7月

- 4日 福岡県筑前町議会行政視察来石
- 5日 静岡県沼津市議会行政視察来石
桜坂高等学校議場見学
- 6日 大分県豊後高田市議会行政視察来石
- 7日 宮城県議会議長協議会
- 10日 東京都中央区議会行政視察来石(～11日)
沖縄県名護市議会行政視察来石
- 11日 総合防災対策特別委員会行政視察(～13日)
東日本大震災復興創生特別委員会行政視察(～13日)
地方創生推進特別委員会行政視察(～13日)
千葉県流山市議会行政視察来石
- 14日 宮崎県延岡市議会行政視察来石
- 18日 石巻復興の会行政視察(～21日)
創生会行政視察(～21日)
- 19日 愛知県豊川市議会行政視察来石
- 20日 山梨県南アルプス市議会行政視察来石
東京都武蔵野市議会行政視察来石
- 21日 北海道音更町議会行政視察来石
- 25日 長崎県雲仙市議会行政視察来石
- 26日 ニュー石巻行政視察(～29日)
公明会行政視察(～28日)

議会録画映像の視聴

定例会の一般質問や臨時会の緊急質問の様子の録画映像を公開しています。
視聴は、下記リンクよりご覧ください。

<http://www.gikai-city-ishinomaki.jp/>

市議会ホームページ

石巻市のホームページ内に開設しています。議会に関する様々な情報を掲載しています。
議会の日程や「いしのまき市議会だより」で取上げた内容等についても詳しくご覧いただくことができます。

<http://www.city-ishinomaki.lg.jp/d0100/index.html>

本会議・常任委員会LIVE中継(生中継)

視聴の仕方は、市議会ホームページの

『石巻市議会LIVE中継(生中継)』をご覧ください。



※平成29年 第3回定例会のLIVE中継(生中継)の配信予定は次のとおりです。

日 程	時 間	内 容
9月7日(木)	午後1時～	本会議(開会、提案理由説明)
9月8日(金)	午前10時～	本会議(決算、条例案、予算案等審議)
9月12日(火)	午前10時～	総務企画委員会
9月13日(水)	午前10時～	環境教育委員会
9月14日(木)	午前10時～	保健福祉委員会
9月15日(金)	午前10時～	産業建設委員会
9月21日(木)	午前10時～	本会議(一般質問)
9月22日(金)	午前10時～	本会議(一般質問)
9月25日(月)	午前10時～	本会議(一般質問)
9月26日(火)	午前10時～	本会議(一般質問)
9月27日(水)	午前10時～	本会議(一般質問、委員長報告、追加議案審議、閉会)

編集後記

炎熱の日がつづいております。皆様には体調管理に十分お気をつけください。

さて、4月に市長、市議会議員補欠選挙が行なわれ、また、4月1日付けの市当局の人事異動により、新しく2名の議員と説明者の当局の顔ぶれが代わりました。第2回定例会の議場は、フレッシュ感にあふれ、最終日には、佐藤副市長の選任で幕を閉じました。

震災から6年が経過した今、マラソンに例えますと、折り返し地点が過ぎ、復興終了年度(平成32年度)のゴールが見てきました。

本年度の各種会計予算総額は、約3千億円で、単純計算で震災前の4倍になります。予算が過大になっている理由は、国からの復興交付金等の支援によるものであり、ゴール後は、少子高齢化、人口減という行政課題が強固になって待ち構えております。復興を進め、併せて現在、他の自治体が、真剣に取り組んでいる「持続可能な都市」のための施策も同時並行で進める必要があります。

ふるさと石巻に誇りと責任を持った行政運営に努め、議会活動に取り組んで参ります。

季節の変わり目、くれぐれもご自愛ください。

広報広聴委員会 委員 高橋憲悦

表紙から



平成29年7月5日に石巻市立桜坂高等学校の3年生が主権者教育として取り組む「市役所プロジェクト」の一環として、議場見学を行いました。

広報広聴委員会委員長の遠藤宏昭議員から「議員の仕事」についての説明を受ける際、メモを取りながら熱心に聞かれておりました。

DATA 市総人口：146,825人【男：71,427人 / 女：75,398人 / 世帯数：61,214世帯(平成29年6月30日現在)】